

1. 自己点検・評価の基礎資料

(1) 学校法人及び短期大学の沿革 (1600 字程度 = 1 ページ程度)

八戸学院短期大学の設置母体である学校法人光星学院は、昭和34年3月、洗礼名ヨゼフ中村由太郎によって創設された。創設者中村由太郎（初代理事長）は30代から事業家として活躍していたが、私塾の経営を機に教育事業に転じ、60歳にして学校法人光星学院を創設した。「若人の未来の幸福を願い、郷土青森の文化の発展向上に貢献したい」という思いは強く、寸暇を惜しんで職務に励み、地域の教育のため全財産を投げ打って貢献した。

「地域発展の基礎は教育にある」というヨゼフ中村由太郎の思いは「神を敬し、人を愛する」という建学の精神に込められ、二代目理事長中村キヤへと引き継がれた。中村キヤは、渾身の力を込めて継承貢献し、三代目中村覚へと引き継いだ。四代目法官新一（現理事長）は初代中村由太郎の「立体的総合学園構想」（基準 I -A-1に詳述）を新方針に盛り込み、光星学院のさらなる発展を図っている。

八戸学院短期大学は、昭和46年4月に青森県南地方唯一の専門職養成機関である幼児教育学科（現幼児保育学科）をもって開学した。昭和62年に経営情報学科（現ライフデザイン学科）、平成21年に看護学科を増設した。看護学科は平成28年4月に改組し、八戸学院大学健康医療学部看護学科としてスタートした。

なお、現校名の八戸学院短期大学は、平成25年4月に行われた法人全体の校名変更に伴い、旧八戸短期大学を改称したものである。

学院創立から現在までの学校法人、および短期大学の沿革は以下の通りである。

学校法人沿革

昭和 31 年 4 月 18 日	学校法人白菊学園による光星学院高等学校設置
昭和 34 年 3 月 23 日	学校法人光星学院設立認可 学校法人光星学院 理事長 中村由太郎（初代）就任
昭和 34 年 4 月 1 日	学校法人光星学院による光星学院高等学校設置 八戸学院光星高等学校に校名変更 平成 25 年 4 月
昭和 42 年 6 月 1 日	光星学院高等学校附属しのめ幼稚園設置 八戸短期大学附属しのめ幼稚園 園名変更 平成 17 年 4 月 八戸短期大学附属幼稚園設置 園名変更 平成 19 年 4 月 八戸学院短期大学附属幼稚園 園名変更 平成 25 年 4 月
平成 43 年 7 月 1 日	光星学院高等学校附属多賀台幼稚園設置 八戸短期大学附属多賀台幼稚園 園名変更 平成 17 年 4 月 八戸短期大学附属多賀台幼稚園廃止 平成 19 年 10 月
昭和 48 年 4 月 1 日	光星学院八戸短期大学附属白銀幼稚園設置 八戸短期大学附属白銀幼稚園 園名変更平成 17 年 4 月 八戸短期大学附属白銀幼稚園廃止平成 19 年 3 月
昭和 48 年 4 月 1 日	光星学院野辺地工業高等学校設置 光星学院野辺地西高等学校 校名変更 平成 9 年 4 月 八戸学院野辺地西高等学校 校名変更 平成 25 年 4 月
昭和 51 年 4 月 1 日	光星学院八戸短期大学附属アンナ幼稚園設置 八戸短期大学附属聖アンナ幼稚園 園名変更 平成 17 年 4 月 八戸学院短期大学附属幼稚園聖アンナ 園名変更 平成 25 年 4 月
昭和 53 年 4 月 1 日	光星学院八戸短期大学附属びわの幼稚園設置 八戸短期大学附属びわの幼稚園 園名変更 平成校 17 年 4 月 八戸学院短期大学附属幼稚園びわの廃止 平成 25 年 8 月
昭和 54 年 4 月 1 日	光星学院八戸短期大学附属第二しのめ幼稚園設置 八戸短期大学附属第二しのめ幼稚園 園名変更 平成 17 年 4 月 八戸学院短期大学附属幼稚園第二しのめ 園名変更 平成 25 年 4 月
昭和 54 年 4 月 1 日	光星学院野辺地自動車工学専門学校設置 光星学院野辺地工学専門学校 校名変更 情報会計学科開設・昭和 59 年 4 月 光星学院野辺地工学専門学校廃止 平成 21 年 3 月

昭和 56 年 4 月 1 日	八戸大学（商学部商学科）設置 八戸大学学部学科名称変更（商学部商学科→ビジネス学部ビジネス学科）平成 16 年 4 月 八戸学院大学に校名変更 平成 25 年 4 月
昭和 58 年 6 月 1 日	学校法人光星学院 理事長 中村キヤ （第 2 代）就任
平成 13 年 4 月 1 日	学校法人光星学院 理事長 中村 覺 （第 3 代）就任
平成 25 年 4 月 1 日	学校法人光星学院 理事長 法官新一 （第 4 代）就任

短期大学沿革

昭和 46 年 4 月 1 日	八戸短期大学開学（幼児教育学科開設）
昭和 48 年 4 月 1 日	光星学院八戸短期大学 校名変更（旧八戸短期大学）
昭和 62 年 4 月 1 日	光星学院八戸短期大学経営情報学科開設
平成 16 年 4 月 1 日	光星学院八戸短期大学学科名称変更、入学定員変更 （幼児教育学科 80 名→幼児保育学科 100 名、経営情報学科 100 名→現代ビジネス学科 80 名）
平成 17 年 4 月 1 日	八戸短期大学に校名変更
平成 18 年 4 月 1 日	八戸短期大学現代ビジネス学科学生募集停止・八戸短期大学ライフデザイン学科設置（80 名）
平成 19 年 3 月 31 日	八戸短期大学現代ビジネス学科廃止
平成 21 年 4 月 1 日	八戸短期大学看護学科設置、ライフデザイン学科入学定員変更（80 名→40 名）
平成 22 年 3 月 18 日	八戸短期大学が第三者評価の適格認定を受ける（短期大学基準協会）
平成 25 年 4 月 1 日	八戸学院短期大学に校名変更
平成 27 年 12 月 19 日	八戸学院短期大学幼児保育学科棟竣工
平成 28 年 4 月 1 日	八戸学院短期大学看護学科を八戸学院大学健康医療学部看護学科に改組

(2) 学校法人の概要

■ 学校法人が設置するすべての教育機関の名称、所在地、入学定員、収容定員及び在籍者数

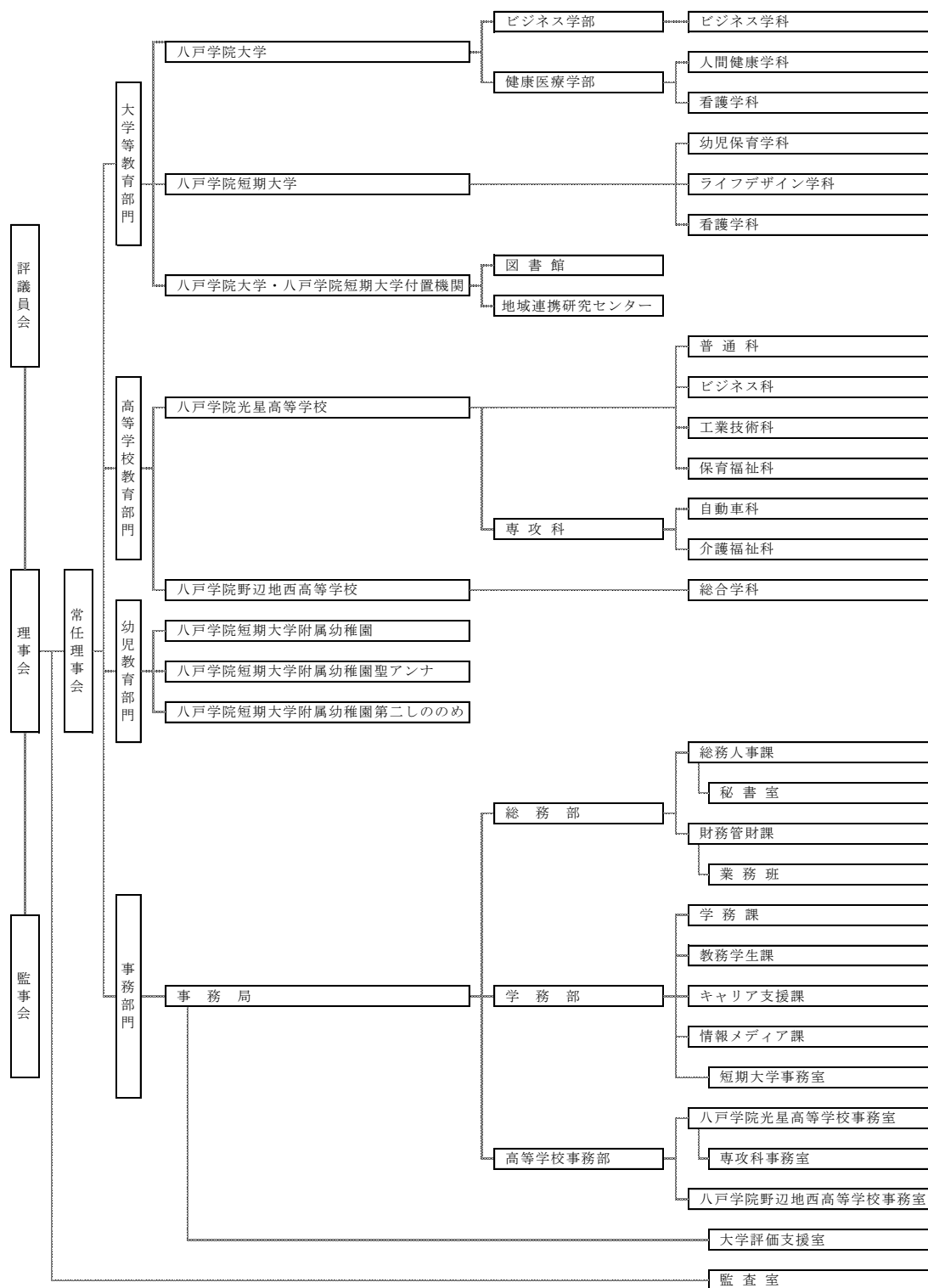
平成28年5月1日

教育機関名	所在地	入学定員	収容定員	在籍者数
八戸学院大学	青森県八戸市美保野13-98	240	960	623
ビジネス学部				
ビジネス学科		80	320	246
健康医療学部				
人間健康学科		80	320	308
看護学科(平成28年4月開設)		80	320	69
八戸学院短期大学	青森県八戸市美保野13-384	140	440	400
幼児保育学科		100	200	203
ライフデザイン学科		40	80	41
看護学科(平成28年4月募集停止)		—	160	156
八戸学院光星高等学校	青森県八戸市湊高台6-14-5	390	1,170	1,040
普通科		160	480	492
ビジネス科		30	90	88
工業技術科		80	240	141
保育福祉科		120	360	319
八戸学院光星高等学校専攻科	青森県八戸市美保野13-117	100	200	77
自動車科		60	120	41
介護福祉科		40	80	36
八戸学院野辺地西高等学校	青森県上北郡野辺地町字枇杷	150	450	266
総合学科	野51-6	150	450	266
八戸学院短期大学附属幼稚園	青森県八戸市湊高台6-14-5		200	149
八戸学院短期大学附属幼稚園	青森県八戸市青葉3-23-7		90	67
八戸学院短期大学附属幼稚園	青森県八戸市新井田字小久保		90	47
第二しなのめ	尻1-51			

(3) 学校法人・短期大学の組織図

平成28年5月1日現在

学校法人光星学院組織機構図



(4) 立地地域の人口動態・学生の入学動向・地域社会のニーズ

■ 立地地域の人口動態（短期大学の立地する周辺地域の趨勢）

本学は青森県八戸市に所在する。八戸市は太平洋を臨む北東北の東岸に位置し、豊かな水系に恵まれた青森県南東部の街である。昭和4年の市制施行以来、全国有数の水産都市として、さらには東北有数の工業都市、国際物流都市として着実な発展を遂げ、現在では人口236,159人、世帯数106,961世帯の北東北の中核都市である。

本学的美保野キャンパスは八戸市の郊外にあり、種差海岸まで5kmの地にある。南に階上岳を望む広々とした敷地を擁している。最寄りの駅はJR鮫駅(本学から7.5km)であるが、発着本数が少ないため、学生は通学にスクールバスや路線バス、自家用車等を利用している。岩手県とは階上町を挟んで近隣関係にある。

年別 平成	世帯数	人 口			1世帯当 り人員	人口密度 (1km ² あたり)	備 考
		総数	男	女			
23	103,540	240,712	115,616	125,096	2.32	788	住民基本台帳(9.30)
24	104,831	240,478	115,439	125,039	2.29	787	〃
25	105,504	239,040	114,677	124,363	2.27	783	〃
26	106,267	237,776	113,999	123,777	2.24	778	〃
27	106,961	236,159	113,251	122,908	2.21	772	〃

資料：八戸市 市民課

■ 学生の入学動向：学生の出身地別人数及び割合

地域		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
青森県	八戸市	95	44.8	76	37.3	94	41.7	93	45.1	101	49.5
	十和田市	26	12.3	23	11.3	21	9.3	11	5.3	22	10.8
	三沢市	13	6.1	7	3.4	15	6.6	14	6.8	11	5.4
	むつ市	3	1.4	6	2.9	3	1.3	9	4.4	0	0
	三戸郡	19	9.0	14	6.9	31	13.7	24	11.7	39	19.1
	上北郡	20	9.4	26	12.7	24	10.6	28	13.6	18	8.8
	その他町村	15	7.1	10	4.9	8	3.5	5	2.4	0	0
岩手県	18	8.5	35	17.2	27	11.9	19	9.2	13	6.4	
秋田県	0	0.0	2	1.0	3	1.3	0	0	0	0	
宮城県	0	0.0	4	2.0	0	0	1	0.5	0	0	
山形県	1	0.5	0	0	0	0	1	0.5	0	0	
福島県	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	2	0.9	1	0.4	0	0	1	0.5	0	0	
合計	212	100.0	204	100.0	226	100.0	206	100.0	204	100.0	

[注]

- 短期大学の実態に即して地域を区分する。
- この事項においては通信による教育を行う学科の学生を除く。
- 第三者評価を受ける前年度の平成27年度を起点に過去5年間。

■ 地域社会のニーズ

青森県内には5つの短期大学があるが、津軽地区に4つの短期大学が所在し、南部地区には本学1校のみが所在している。このためもあって、幼児保育学科、看護学科では例年、入学定員を満たしており、就職状況も好調である。ライフデザイン学科も就職は好調であるが、入学定員確保に苦慮しており、平成28年度は改組・改編の計画が打ち出されている。

本学は近隣の市町村からの学生も多いことから五戸町・階上町・新郷村・田子町と地域協定を締結し、地域社会との連携を図っている。平成27年度の本学入学者の出身地構成は、約93.6%が青森県内で占められている。男女比では概ね9割が女子であり、青森県内の女子によるニーズが大勢を占めている。また、スクールバスで通学ができることから、八戸市外の近隣市町村や岩手県北からも多くの学生が入学している。

■ 地域社会の産業の状況

八戸市は恵まれた自然環境や、歴史・文化等を背景に地域資源を生かしながら、多種多様な産業を展開している。日本有数の水揚げ量と加工業の集積をもつ水産業、地域の食料供給を担う農業、国内一大基地化に向けてさらなる発展が見込まれる畜産業、北東北随一の工業集積、八戸港を利用した国際貿易、北奥羽地域中核となる商業などの産業である。

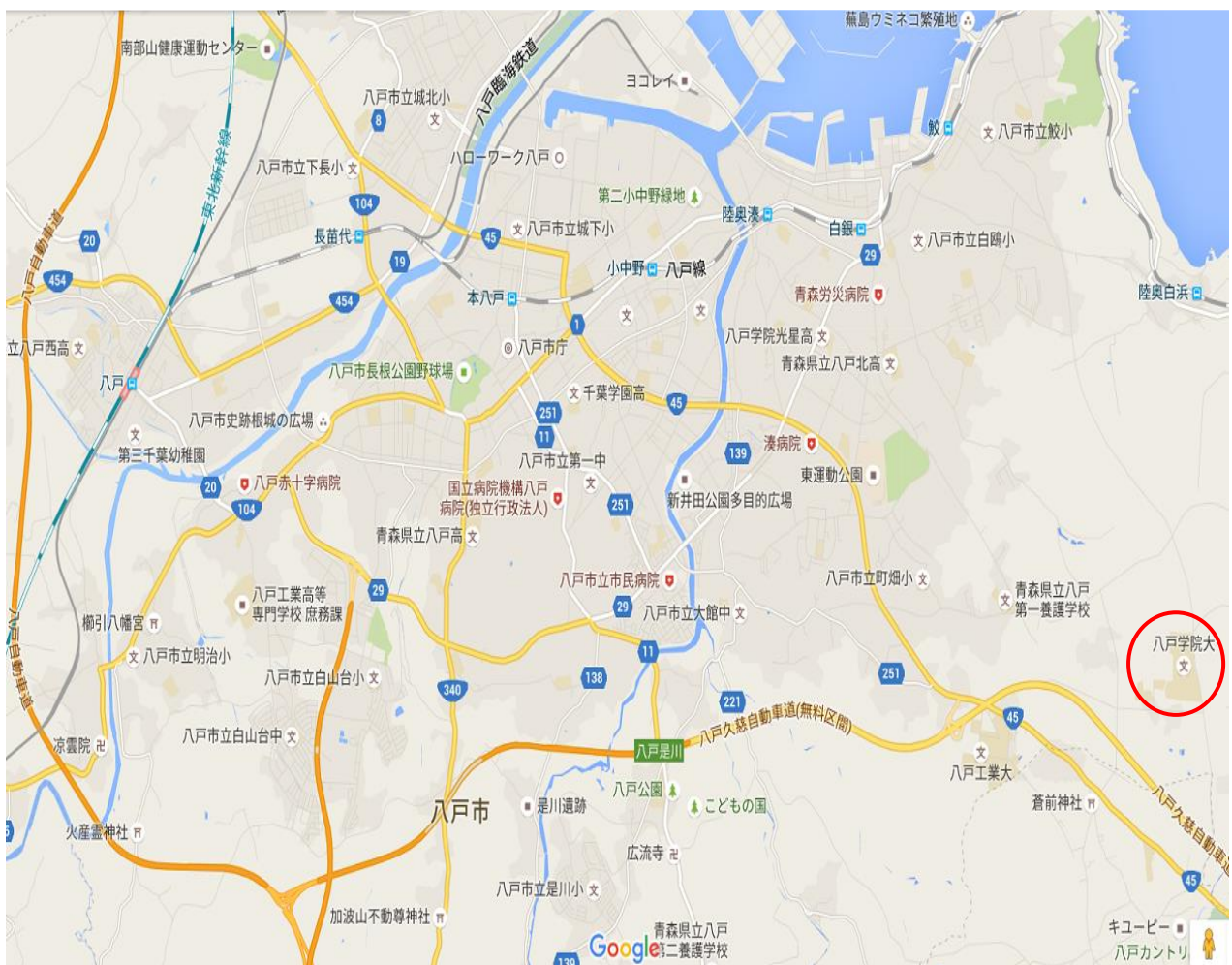
また、「総合計画」として平成23年度から28年度にかけて分野横断的な重点施策・事業に取り組んでいる。平成27年度は第6次八戸市総合計画（平成27年9月17日策定）として、次の5つを柱とした戦略プロジェクトを実施している。

- 1 「人づくり戦略」
- 2 「生業づくり戦略」
- 3 「安心づくり戦略」
- 4 「魅力づくり戦略」
- 5 「自治体経営戦略」

(八戸市公式ウェブサイトより)

本学では学科の特性を生かして上記の「人づくり、安心づくり、魅力づくり」の分野で貢献活動を展開している。

■ 短期大学所在の市区町村の全体図



(5) 課題等に対する向上・充実の状況

① 前回の第三者評価結果における三つの意見の「向上・充実のための課題」で指摘された事項への対応について

改善を要する事項 (向上・充実のための課題)	対策	成果
<p>退学・休学・留年者へのケアや、基礎学力の不足した学生及び学習スキルを身に付けていない学生への支援については、個々の教員が努力しているが、ファカルティ・デベロップメント (FD) 活動を通して組織的な取組みを考える必要がある。</p>	<p>・FD活動は大学・短期大学合同の委員会組織によって活発な活動を展開している。</p> <p>・平成27年度の主な実施事業</p> <p>①学内研修会 FD研修会 新教学システム研修会</p> <p>②授業評価アンケートの実施</p> <p>③公開授業及び授業参観の実施</p> <p>④外部研修 FDネットワークつばさ協議会 出席、他</p> <p>⑤FD活動の成果調査の実施</p> <p>⑥FD報告書の作成</p>	<p>・学生参加型FD活動が組織的に行われた。(平成24～26年度)</p> <p>・学生の授業評価は例年高く推移している。</p> <p>・授業形態は討論や調べ学習、発表等の双方向授業が増えている。</p> <p>・FD研修会は教員のモチベーションを高めた。</p> <p>(詳細はFD報告書に記述)</p>
<p>科学研究費補助等の外部資金の導入に引き続き努められたい。</p>	<p>平成27年度の主な実施事業</p> <p>①科学研究費申請サポート講習会の実施</p> <p>②研究倫理・コンプライアンス教育研修会の実施</p>	<p>・平成27年4月に科学研究費補助金が1件採択(平成26年度継続)された。</p> <p>・青森ライフイノベーション補助金活用事業に1名(平成25年)、八戸市学生まちづくり助成金制度に2名(平成27年)、他文化都市八戸推進事業補助金(平成26, 27年)に1名が採択されている。</p>
<p>学校法人全体は支出超過が続いており、負債も多いので、財務の改善が望まれる。</p>	<p>経営改善計画の平成26年度目標は実質でクリアした。以降も財務内容を良化するよう取り組んでいる。</p>	<p>・平成27年度の帰属収支差額(改正後基準では基本金組入前当年度収支差額)は図書・備品等の過年度償却6,300万円を含み、△9,200万円。この特殊要因を除けば、▲2,900万円の実力である。</p> <p>・四年制看護学科の完成年度(平成31年度)までは厳しい財務内容となるが、それ以降は安定する見込みである。</p>

② 上記以外で、改善を図った事項について

改善を要する事項	対 策	成 果
1 ライフデザイン学科の定員充足	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフデザイン学科の定員充足対策は平成27年度大学・短大内に総合企画室を立ち上げ、中長期経営計画の一環として審議が行われた。教育改革、入試戦略等に改革案が示されたが学科編成は実効に至らなかった。 ・平成28年4月に新学院構想戦略会議が組織され、改組改編を審議することになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員未充足 ・総合企画室案は新学院構想戦略会議の具体的改革方針に盛り込まれている。
2 看護学科の四大化	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年8月文部科学省より青森県南初の四年制看護学科の開設認可を受けた。 	平成28年4月八戸学院大学の健康医療学部看護学科として改組した。
3 幼児保育学科校舎建設	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児保育学科新校舎は平成27年5月に着工し、12月19日に完成した。 	新校舎への移転により、学習環境が改善された。
4 法人全体の一体化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度より、法人内8校の一体化事業として「八戸学院フェスタ」・「関東の集い」・「第3回八戸学院内各学校の教育に関する研究発表会」を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸学院フェスタは毎回多彩な演目で「絆」を深めている。 ・関東の集いは卒業生と関東の企業（就職先）との連携を密にしている。 ・幹部職員による教育研究会は法人内幹部の相互理解を深めている。

③ 過去7年間に、文部科学省の設置計画履行状況等調査において留意事項が付された短期大学は、留意事項及びその履行状況を記述する。

1) 平成21年度

認可時の留意事項	左 の 履 行 状 況
1. 既設校の入学定員比の平均が0.7倍未満となっていることから、今後の定員充足の在り方について検討すること。 ・ ライフデザイン学科	1. 八戸短期大学看護学科の開設に伴って既設校の入学定員についても見直しを行い平成21年度から次のとおり変更して適正化を図った。 ・ 八戸短期大学 ライフデザイン学科 80名→40名

2) 平成22年度

履行状況調査時の留意事項	左 の 履 行 状 況														
1. 入学定員比の平均が0.7倍未満となっていることから、今後の定員充足の在り方について検討すること。 ・ ライフデザイン学科	1. 平成22年度の入学者数・入学定員充足率は、前年度に比べて以下のとおり推移した。短大ライフデザイン学科は回復傾向を示しているが、今後とも適正な入学定員との在り方について検討を継続していく。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">八戸短期大学 ライフデザイン学科</td> <td>入学定員</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> <tr> <td>入学者数</td> <td style="text-align: center;">22</td> <td style="text-align: center;">31</td> </tr> <tr> <td>定員充足率</td> <td style="text-align: center;">0.55</td> <td style="text-align: center;">0.77</td> </tr> </tbody> </table>			平成21年度	平成22年度	八戸短期大学 ライフデザイン学科	入学定員	40	40	入学者数	22	31	定員充足率	0.55	0.77
		平成21年度	平成22年度												
八戸短期大学 ライフデザイン学科	入学定員	40	40												
	入学者数	22	31												
	定員充足率	0.55	0.77												

3) 平成23年度

履行状況調査時の留意事項	左 の 履 行 状 況														
1. 入学定員比の平均が0.7倍未満となっていることから、今後の定員充足の在り方について検討すること。 ・ ライフデザイン学科	1. 平成23年度の入学者数・入学定員充足率は、前年度に比べて以下のとおり推移した。短大ライフデザイン学科は若干減少した。今後とも適正な入学定員の在り方についての検討を継続していく。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">八戸短期大学 ライフデザイン学科</td> <td>入学定員</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> <tr> <td>入学者数</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">26</td> </tr> <tr> <td>定員充足率</td> <td style="text-align: center;">0.77</td> <td style="text-align: center;">0.65</td> </tr> </tbody> </table>			平成22年度	平成23年度	八戸短期大学 ライフデザイン学科	入学定員	40	40	入学者数	31	26	定員充足率	0.77	0.65
		平成22年度	平成23年度												
八戸短期大学 ライフデザイン学科	入学定員	40	40												
	入学者数	31	26												
	定員充足率	0.77	0.65												

4) 平成24年度

留意事項なし。

5) 平成 25 年度

履行状況調査時の留意事項	左 の 履 行 状 況																												
<p>1. 今後の定員充足の在り方について検討すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ライフデザイン学科 	<p>1. ライフデザイン学科の定員充足に関して、平成23年度より職業や資格イメージに直結する履修プログラムに改編し募集を行っている。その一方、定員充足率は系列高校からの入学者数に左右される要素が大きいことから、系列高校との連携強化に力を注いでいる。系列高校である八戸学院光星高等学校の入学者数が、平成22年度より大きく増加に転じており、今後その卒業生を大学・短大への入学に繋げるため、教員の交流を積極的に図っている。</p> <p>・ ライフデザイン学科年度別定員充足状況</p> <table border="1" data-bbox="608 667 1300 801"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入学定員</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>入学者数</td> <td>22</td> <td>31</td> <td>26</td> <td>19</td> <td>30</td> <td>25.6</td> </tr> <tr> <td>定員充足率%</td> <td>55.0</td> <td>77.5</td> <td>65.0</td> <td>47.5</td> <td>75.0</td> <td>64.0</td> </tr> </tbody> </table>		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平均	入学定員	40	40	40	40	40	—	入学者数	22	31	26	19	30	25.6	定員充足率%	55.0	77.5	65.0	47.5	75.0	64.0
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平均																							
入学定員	40	40	40	40	40	—																							
入学者数	22	31	26	19	30	25.6																							
定員充足率%	55.0	77.5	65.0	47.5	75.0	64.0																							

6) 平成 26 年度

留意事項なし。

7) 平成 27 年度

留意事項なし。

(6) 学生データ

① 入学定員、入学者数、入学定員充足率、収容定員、在籍者数、収容定員充足率

■ 学科・専攻課程ごとに、第三者評価を受ける平成28年度を含む過去5年間のデータを示す。

学科等の名称	事項	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
幼児保育学科	入学定員	100	100	100	100	100	
	入学者数	105	107	104	97	106	
	入学定員充足率 (%)	105	107	104	97	106	
	収容定員	200	200	200	200	200	
	在籍者数	203	210	207	194	203	
	収容定員充足率 (%)	101	105	103	97	101	
ライフデザイン学科	入学定員	40	40	40	40	40	
	入学者数	19	30	29	23	16	
	入学定員充足率 (%)	47	75	72	57	40	
	収容定員	80	80	80	80	80	
	在籍者数	45	50	59	55	41	
	収容定員充足率 (%)	56	62	73	68	51	
看護学科	入学定員	80	80	80	80		[募集停止]
	入学者数	80	89	75	84		
	入学定員充足率 (%)	100	111	93	105		
	収容定員	240	240	240	240	160	
	在籍者数	255	257	249	255	156	
	収容定員充足率 (%)	106	107	103	106	97	

[注]

- 「学科等の名称」欄には5年間に設置された学科等をすべて記載し、設置以前の年度については、入学定員以下は空欄とする。
- 5年間に学科等の名称変更を行った場合は、最新の名称で記載し、直下の()に旧名称を記載する。
- 通信教育課程の場合、学科等の名称欄に「通信教育」と記載する。募集停止を行った学科等は、募集を停止した年度の入学定員欄に「募集停止」と記載する。
- 新たに学科等を新設した場合は、募集年度の入学定員欄に「新設」と記載する。
- 「入学定員充足率 (%)」欄及び「収容定員充足率 (%)」欄は、小数点以下第1位を切り捨てて記載する。

※ 下記②～⑥について、学科・専攻課程ごとに、第三者評価を受ける前年度の平成27年度を起点とした過去5年間のデータを示す。

② 卒業者数（人）

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
幼児保育学科	96	97	98	100	91
ライフデザイン学科	31	25	20	28	31
看護学科	49	81	70	71	81

③ 退学者数（人）

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
幼児保育学科	3	1	8	8	6
ライフデザイン学科	2	2	0	1	1
看護学科	8	4	8	6	16

④ 休学者数（人）

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
幼児保育学科	0	3	2	4	8
ライフデザイン学科	0	0	0	0	1
看護学科	2	4	6	10	19

⑤ 就職者数（人）

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
幼児保育学科	88	88	96	96	89
ライフデザイン学科	18	17	14	19	26
看護学科	47	69	64	69	77

⑥ 進学者数（人）

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
幼児保育学科	1	1	0	0	1
ライフデザイン学科	1	0	3	1	2
看護学科	2	5	6	1	4

(7) 短期大学設置基準を上回っている状況・短期大学の概要（平成28年5月1日現在）

① 教員組織の概要（人）

学科等名	専任教員数					設置基準 で定める 教員数 〔イ〕	短期大学 全体の入学定 員に応じて 定める専任 教員数〔ロ〕	設置基準 で定める 教授数	助手	非常勤 教員	備考
	教授	准教授	講師	助教	計						
幼児保育学科	6	3	6	1	16	8	/	3	0	13	教育学・保育学
ライフデザイン学科	7	1	1	0	9	7	/	3	0	14	経済学
（小計）	13	4	7	1	25	① 15	/	③ 6	0	/	
〔その他の組織等〕 看護学科 平成28年度募集停止	3	2	6	3	14	/	/	/	2	6	保健衛生学
短期大学全体の入学定員に 応じて定める専任教員数 〔ロ〕	/	/	/	/	/	/	② 3	④ 1	/	/	
（合計）	16	6	13	4	39	①+②	18	③+④ 7	2	/	

[注]

1. 上表の「設置基準で定める教員数〔イ〕」には、短期大学設置基準第22条別表第1のイに定める学科の種類に応じて定める教員数（昼間又は夜間において授業を行う学科が通信教育をあわせ行う場合には、短期大学通信教育設置基準第9条第2項に定める教員数を含む。）を、また、通信教育学科のみを置く短期大学の場合は短期大学通信教育設置基準第9条第1項別表第1に定める教員数を、学科ごとに記入し、その小計を①に記入する。
2. 上表の「短期大学全体の入学定員に応じて定める専任教員数〔ロ〕」②には、短期大学設置基準第22条別表第1のロに定める短期大学全体の入学定員に応じて定める教員数を記入する。
3. 上表の「設置基準で定める教授数」には、短期大学設置基準第22条別表第1のイの備考1に定める教授数（通信教育学科のみを置く短期大学の場合は、短期大学通信教育設置基準第9条第1項別表第1備考2に定める教授数）を学科ごとに記入し、その小計を③に記入する。さらに、〔ロ〕の専任教員数に対する教授数を④に記入する。
4. 上表の〔その他の組織等〕には、設置する学科に所属しない教員（例えば、一般教育科目等を担当する教員や募集停止を行った学科所属の教員等）数を記入するとともに、〔その他の組織等〕欄に組織名等（募集停止の場合はその年度も含む。）を記入する。該当する教員がない場合、この欄には斜線を引く。
5. 上表の「助手」とは、助手として発令されている教職員をいう。

6. 備考欄には、当該学科の種類（短期大学設置基準第22条別表第1のイにいう「学科の属する分野の区分」）を必ず記載する。

② 教員以外の職員の概要（人）

	専任	兼任	計
事務職員	14	37	51
技術職員	0	0	0
図書館・学習資源センター等専門事務職員	5	4	9
その他の職員	0	0	0
計	19	41	60

[注]

- 「その他の職員」とは、守衛、自動車運転手、作業員等の技能労務職員等を指す。
- 契約職員、派遣職員等は「兼任」に分類する。

* 専任は短期大学を本務とする発令がなされている職員であり、兼任は専任以外の職員である。

③ 校地等（㎡）

校地等	区分	専用 (㎡)	共用 (㎡)	共用する他の 学校等の 専用 (㎡)	計 (㎡)	基準面積 (㎡) [注]	在籍学生 一人当たり の面積(㎡)	備考 (共用の 状況等)
	校舎敷地	11,660			11,660	5,200	61	
運動場用地	13,134			13,134				
小計	24,794			24,794				
その他	4,572			4,572				
合計	29,366			29,366				

[注]

- 基準面積 (㎡) = 短期大学設置基準上必要な面積
- [イ] 在籍学生一人当たりの面積 = [ロ] ÷ 当該短期大学の在籍学生数 (他の学校等と共用している場合、当該学校等の在籍学生数を加えた総在籍学生数)

④ 校舎（㎡）

区分	専用 (㎡)	共用 (㎡)	共用する他の 学校等の 専用 (㎡)	計 (㎡)	基準面積 (㎡) [注]	備考 (共用の状況)
校舎	10,353			10,353	5,150	

[注]

- 基準面積 (㎡) = 短期大学設置基準上必要な面積

⑤ 教室等（室）

講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習室	語学学習施設
22	0	39	1	0

*実験実習室はピアノレッスン室を含む。

⑥ 専任教員研究室（室）

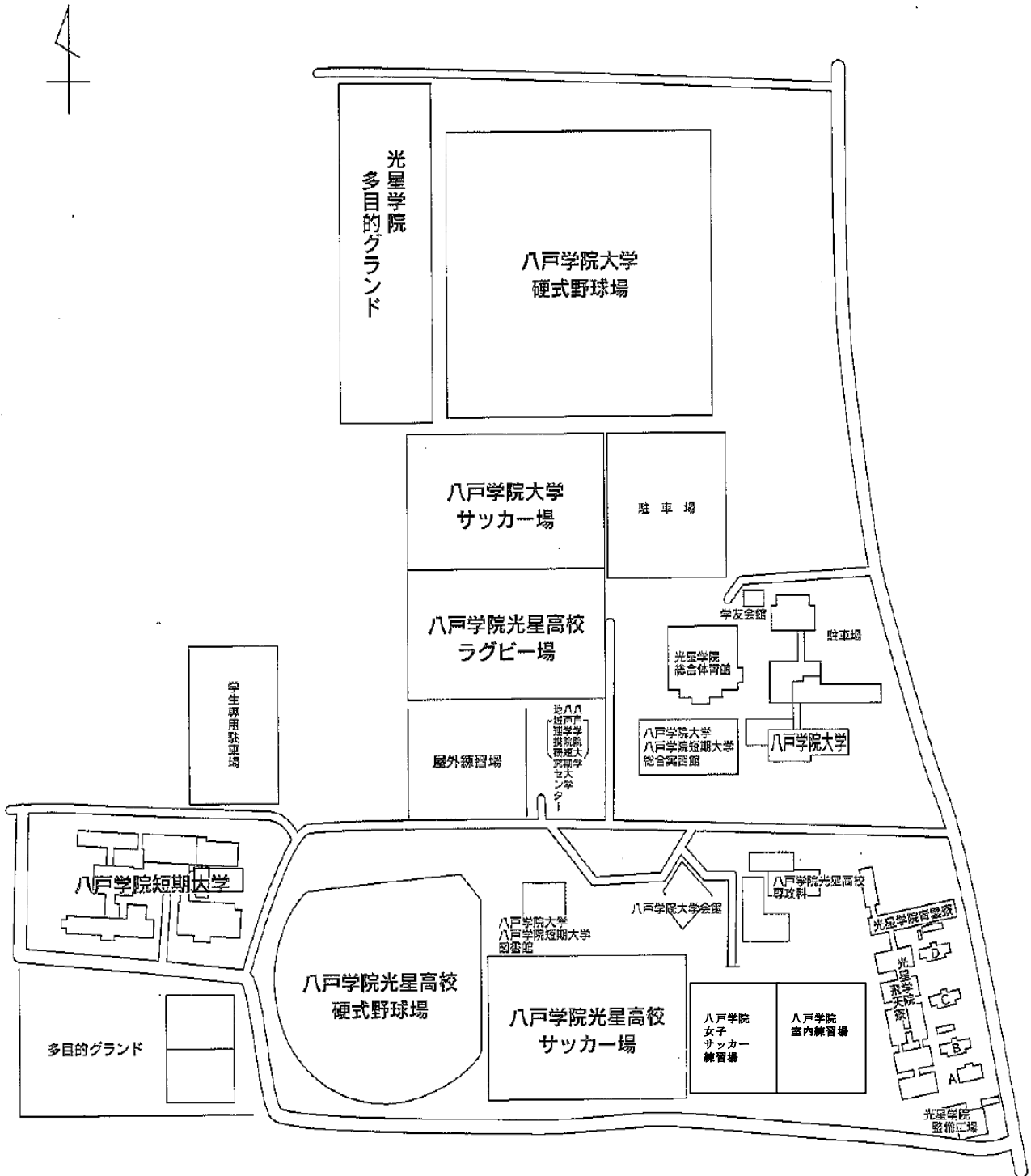
専任教員研究室
39

⑦ 図書・設備

学科・専攻課程	図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕（種）		視聴覚 資料 （点）	機械・ 器具 （点）	標本 （点）
	（冊）		電子ジャーナル 〔うち外国書〕			
幼児保育学科	27,101[1,646]	20[0]	0[0]	164	720	1
ライフデザイン学科	15,475[1,066]	10[1]	0[0]	47	481	19
看護学科	5,852[170]	36[3]	1[1]	290	3,477	—
計	48,428[2,882]	66[4]	1[1]	501	4,678	20

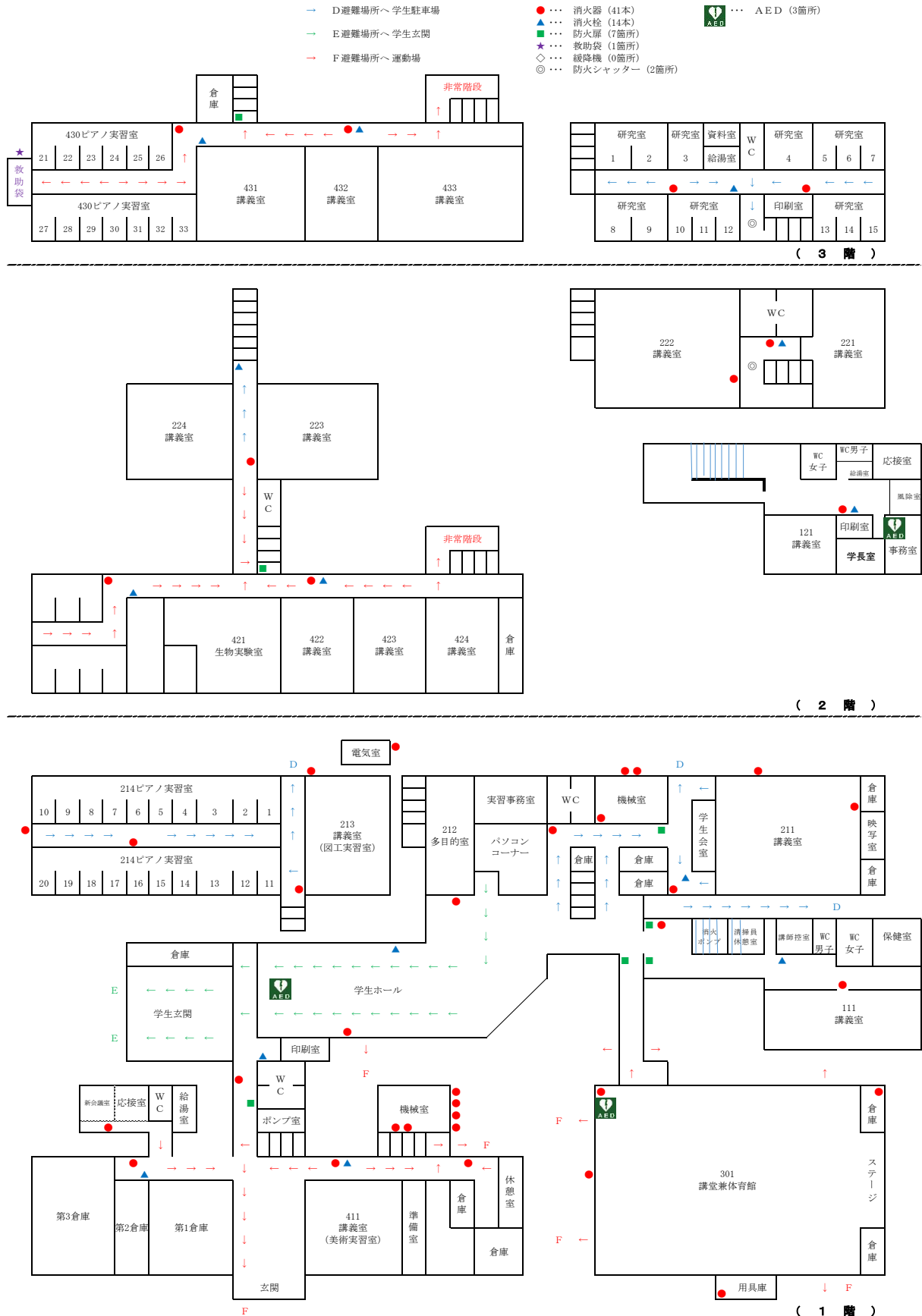
図書館	面積（㎡）	閲覧席数	収納可能冊数
	1,647	208	195,000
体育館	面積（㎡）	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	765		

八戸学院美保野キャンパス配置図



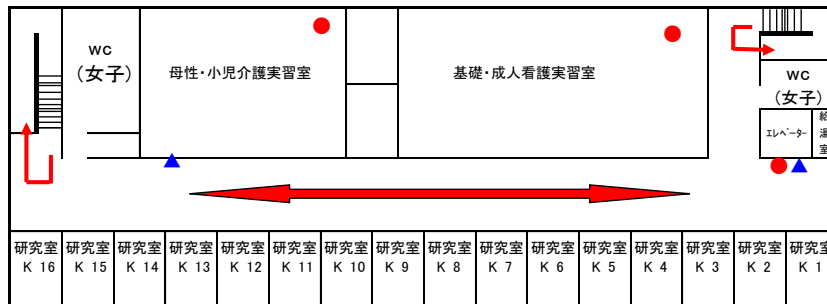
八戸学院短期大学（幼児保育学科）1号館～4号館

幼児保育学科棟 講義室配置図・避難経路図



八戸学院大学・八戸学院短期大学総合実習館（8号館） （ライフデザイン学科・看護学科講義棟）

8号館4階

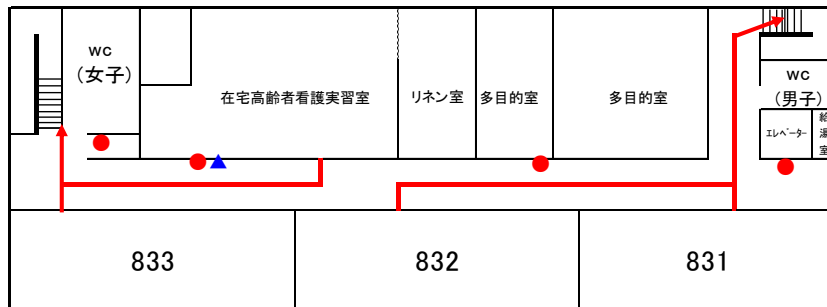


→ 避難経路

避難場所 A
8号館前

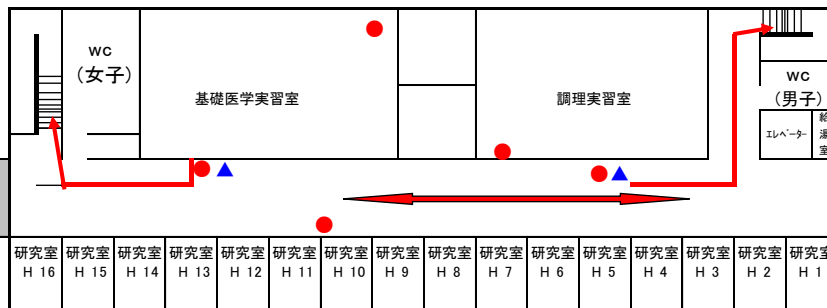
- → 消火器
- ▲ → 消火栓
- → 防火戸
- ★ → 救助袋
- ⊕ → 緩降機
- Ⓜ → AED

8号館3階

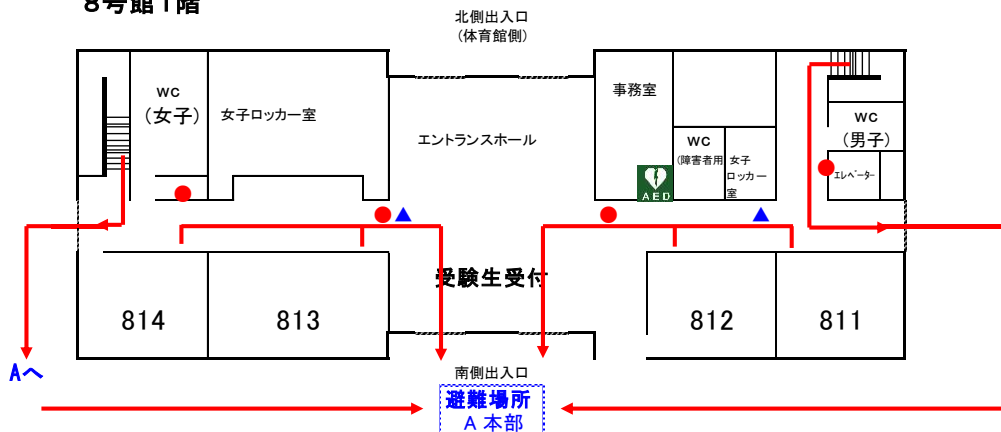


8号館2階

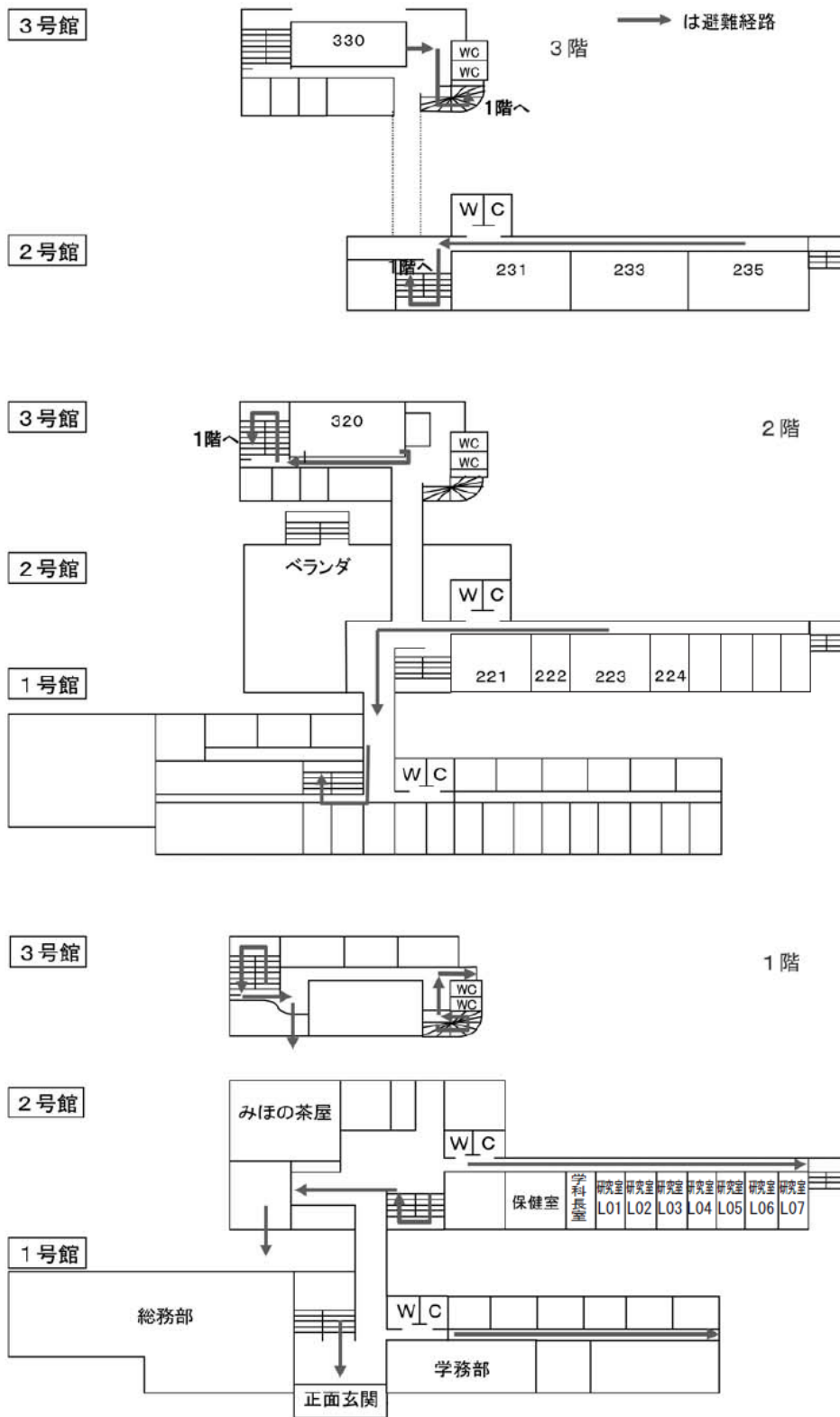
渡り廊下
連絡通路



8号館1階



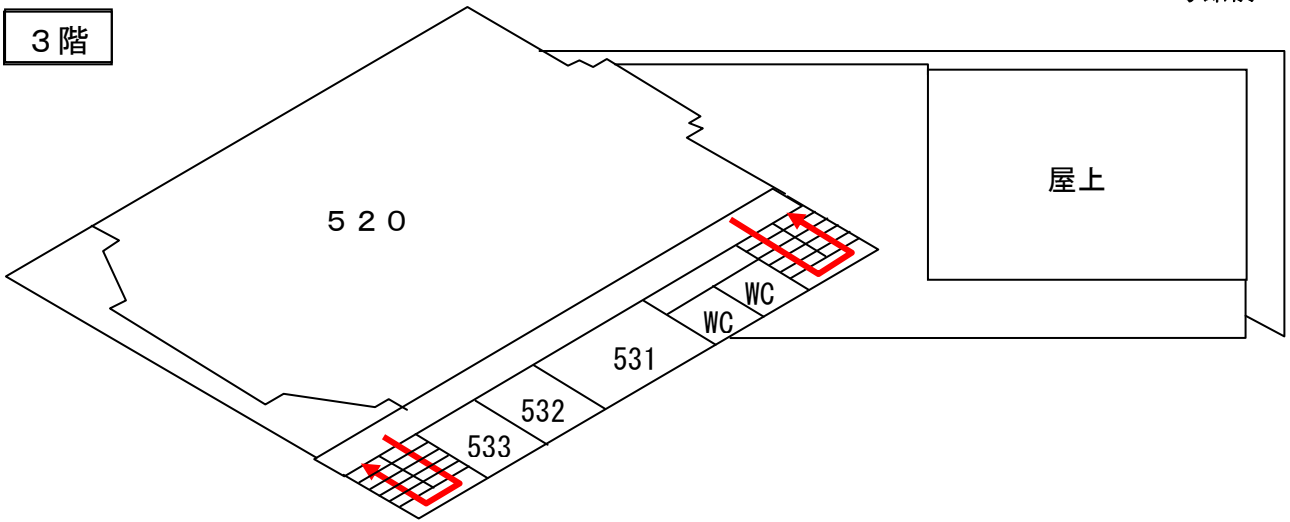
八戸学院大学（1・2・3号館）



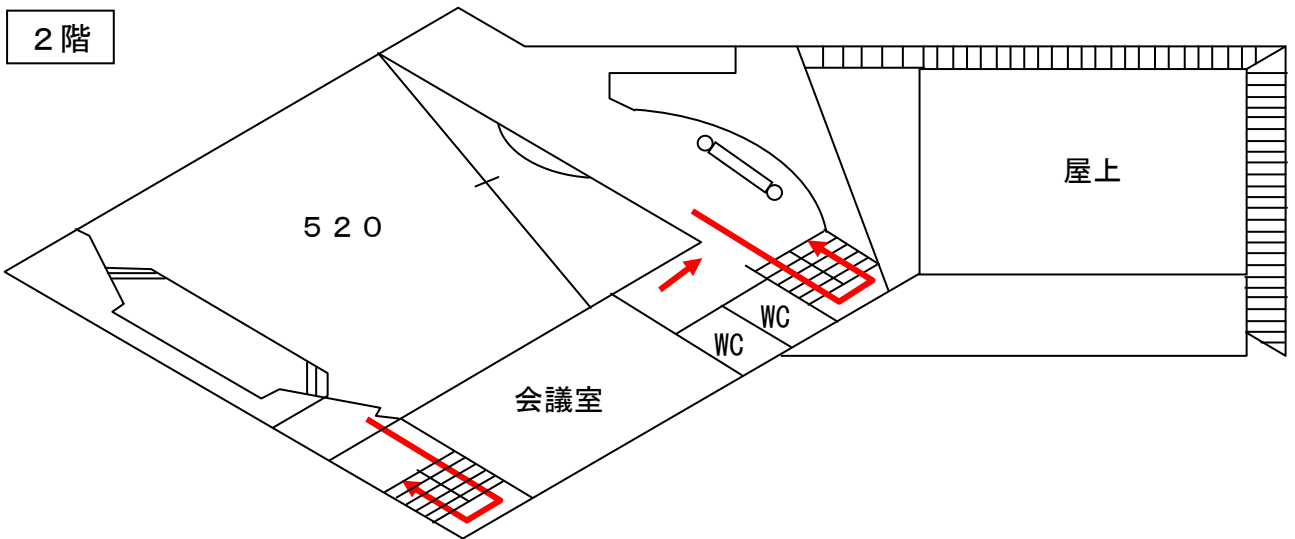
八戸学院大学会館（5号館）

A 8号館前

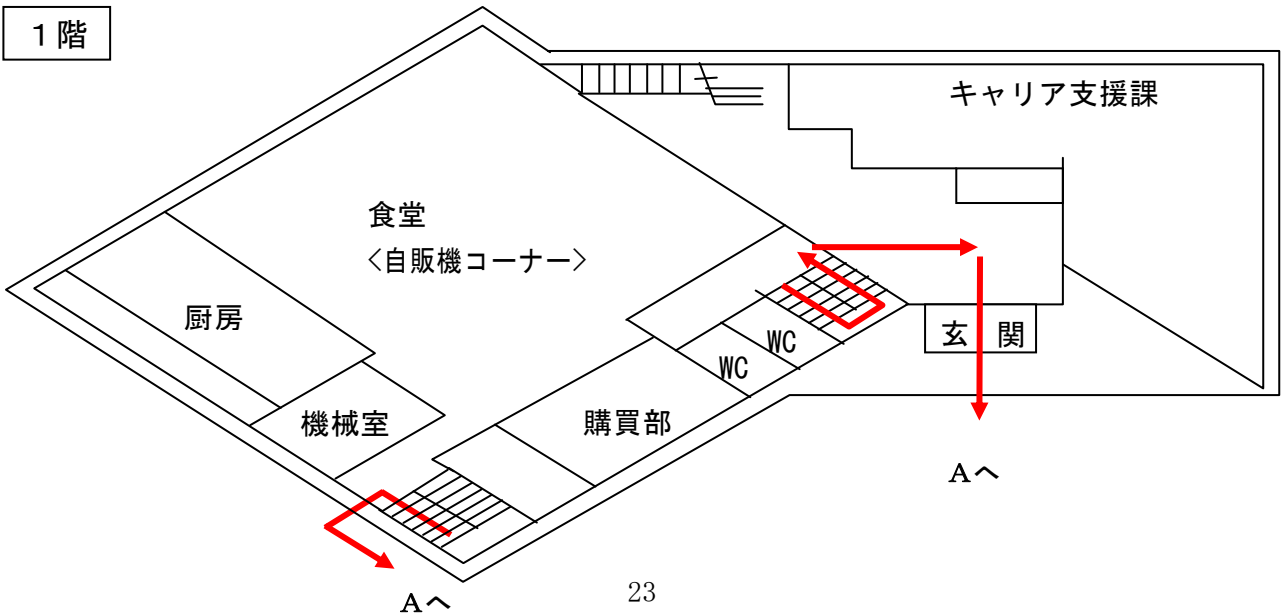
3階



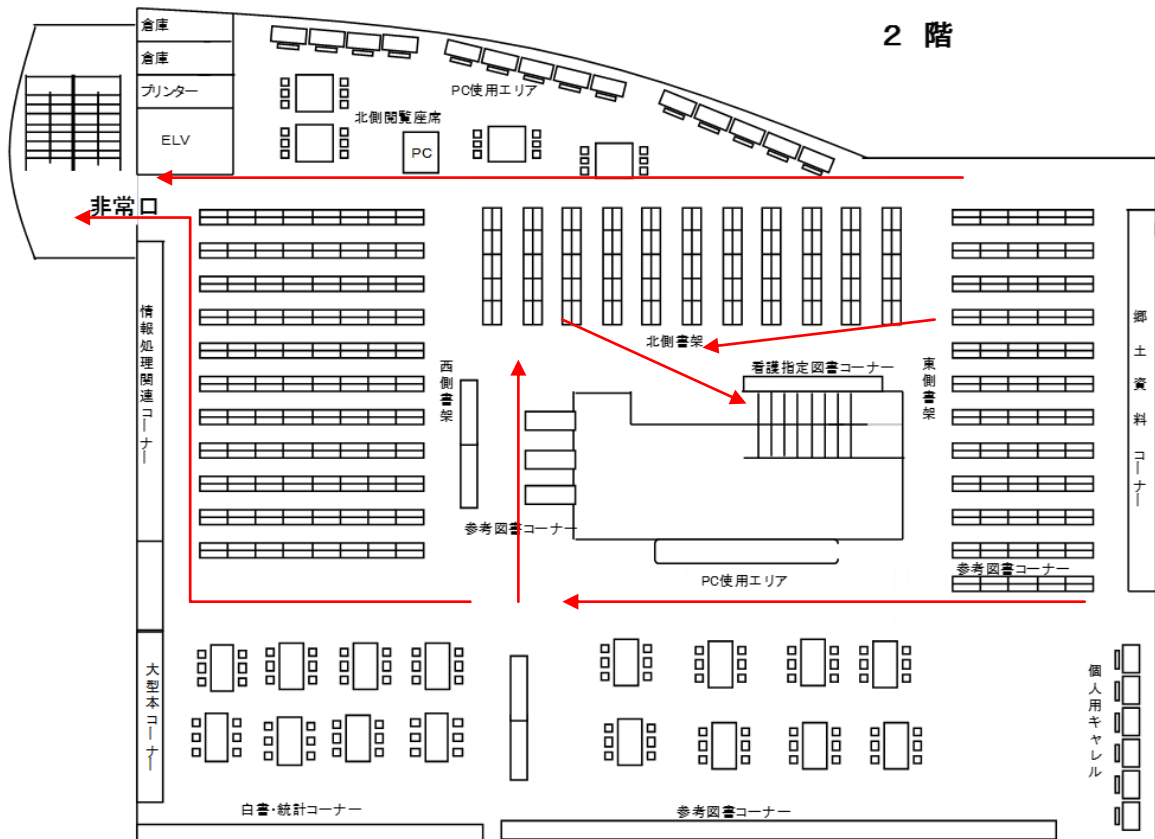
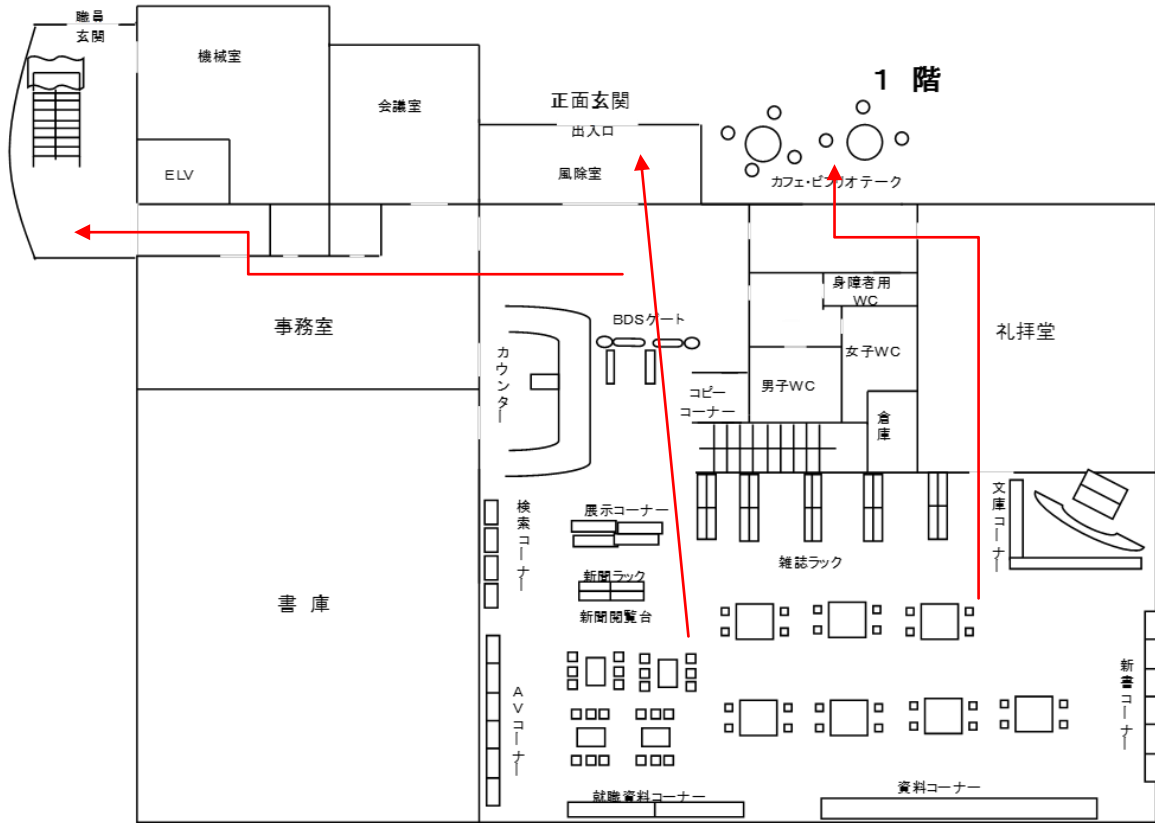
2階



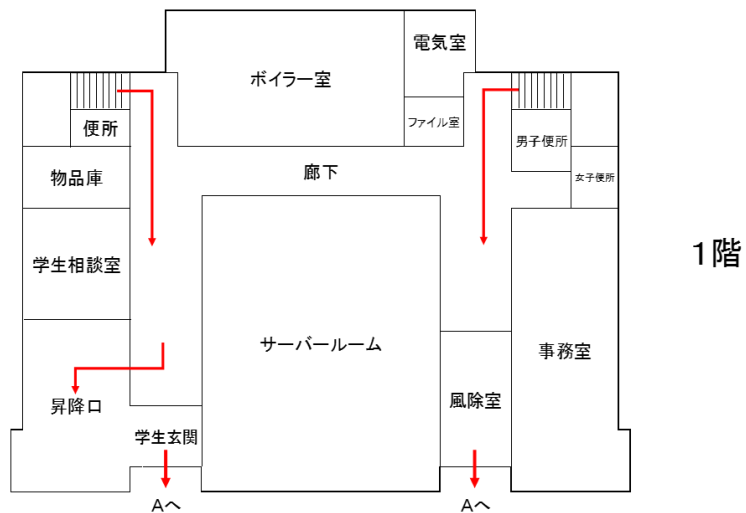
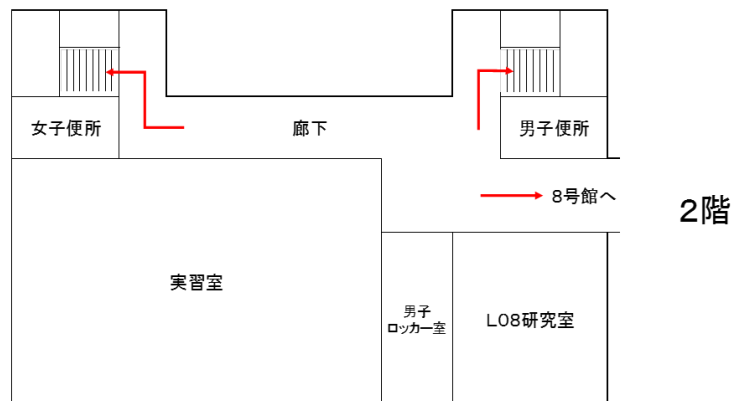
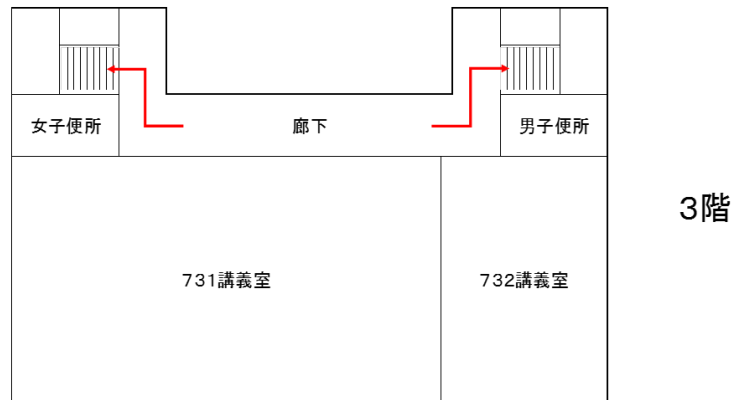
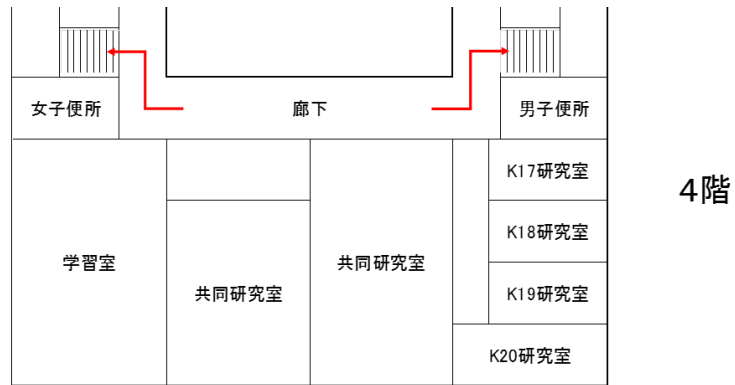
1階



八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館（6号館）



八戸学院大学・八戸学院短期大学地域連携研究センター（7号館）



(8) 短期大学の情報の公表について

① 教育情報の公表について 【教育情報の公表：<http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/edu-info/>】

	事項	公表方法等
1	大学の教育研究上の目的に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 短期大学の教育目的 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/summary/ ■ 幼児保育学科：教育理念・目的・目標 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/spirit/ ■ ライフデザイン学科：教育理念・目的・目標 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/spirit/ ■ 看護学科：教育理念・目的・目標 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/nurse/spirit/ ■ 教育目的：学則 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/03/gakusoku1.pdf
2	教育研究上の基本組織に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学科紹介 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/ ■ 幼児保育学科 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/ ■ ライフデザイン学科 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/ ■ 看護学科 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/nurse/
3	教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幼児保育学科：教員組織（一覧）・学位及び業績 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/teacher/ ■ ライフデザイン学科：教員組織（一覧）・学位及び業績 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/teacher/ ■ 看護学科：教員組織（一覧）・学位及び業績 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/nurse/teacher/ ■ 教員数<職別専任教員数><年齢構成別専任教員数> http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/edu-info/
4	入学者に関する受け入れ方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 短期大学入学者受入方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/summary/ ■ 幼児保育学科：入学者受入方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/spirit/ ■ ライフデザイン学科：入学者受入方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/spirit/ ■ 看護学科：入学者受入方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/nurse/spirit/ ■ 幼児保育学科：入試種別（入試情報） http://jc.hachinohe-u.ac.jp/nyushi/yoho/ ■ ライフデザイン学科：入試種別（入試情報） http://jc.hachinohe-u.ac.jp/nyushi/lifedesign/ ■ 入学定員、収容定員、在学者数、充足率 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/edu-info/ ■ 卒業後の進路（就職先及び進学先） http://jc.hachinohe-u.ac.jp/career/situation/ ■ 卒業生数、進学者数、就職希望者数、就職者数 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/edu-info/

5	授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 短期大学教育課程編成・実施の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/summary/ ■ 幼児保育学科：教育課程編成・実施の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/spirit/ ■ ライフデザイン学科：教育課程編成・実施の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/spirit/ ■ 看護学科：教育課程編成・実施の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/nurse/spirit/ ■ 幼児保育学科：講義概要（授業の科目名・方法・内容・年間計画） http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/curriculum/ ■ ライフデザイン学科：講義概要（授業の科目名・方法・内容・年間計画） http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/curriculum/ ■ 看護学科：講義概要（授業の科目名・方法・内容・年間計画） http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/nurse/curriculum/
6	学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 短期大学学位授与の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/summary/ ■ 幼児保育学科：学位授与の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/spirit/ ■ ライフデザイン学科：学位授与の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/spirit/ ■ 看護学科：学位授与の方針 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/nurse/spirit/ ■ 学修の成果に係る評価の基準／卒業又は修了の認定の基準（学則） http://jc.hachinohe-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/03/gakusoku1.pdf http://jc.hachinohe-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/03/gakusoku2.pdf
7	校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 校地・校舎等の面積／教室等の概要／図書館・図書・資料の所蔵数 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/edu-info/ ■ キャンパスの概要 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/campusmap/ ■ 交通アクセス http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/accessmap/ ■ 課外活動の紹介＜サークル・同好会一覧＞ http://jc.hachinohe-u.ac.jp/c-life/circle/
8	授業料、入学金その他の大学が徴収する費用に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業料、入学金、その他の費用：学納金 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/nyushi/gakunoukin/
9	大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学生の修学：各種相談窓口 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/c-life/consult/ ■ 奨学金制度 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/c-life/scholarship/ ■ 進路選択 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/career/ ■ 心身の健康等に係る支援：各種相談窓口 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/c-life/consult/ ■ 下宿・寮の紹介 http://jc.hachinohe-u.ac.jp/c-life/dormitory/

② 学校法人の財務情報の公開について

事項	公開方法等
財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書	http://jc.hachinohe-u.ac.jp/jc/disclosure/ 【 http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/kg/management/#zaimu 】

[注] □ 上記①・②ともに、ウェブサイトで公表している場合は URL を記載する。

(9) 各学科・専攻課程ごとの学習成果について（平成27年度）

〈幼児保育学科〉

- 1 健全で豊かな情操と保育の知的・実践的専門性を有し、子どもの成長・発達を支える環境を創造することができる。
- 2 子どもを受容し共感する感性をもち、子どもの権利を尊重しながら、地域や保護者と連携することができる。

〈ライフデザイン学科〉

- 1 人生や生活を主体的にデザインできる教養とスキルを身につけている。
- 2 将来に対する明確なビジョンをもち、社会に貢献できる行動力と論理的に問題解決ができる思考力を有する。

〈看護学科〉

- 1 保健・医療・福祉分野で必要とされる看護の専門性と基礎的な実践力を身につけている。
- 2 看護学の分野における専門性を有し、現代社会が求める健康に関するニーズに対応することができる。

■ 学習成果をどのように規定しているか。

学習成果は建学の精神を理解し、専門的分野において身につけた専門性と、教養教育において培った人間性をもって、地域に貢献できる人材に到達することである。

本学の学習成果は三つの方針の「学位授与の方針」と連動しており、3学科とも専門的学習成果と汎用的学習成果の両面から測定している。

専門的学習成果は学期ごとのGPAや卒業に必要な単位の修得率、資格取得率、および就職率等によって測ることができる。また、汎用的学習成果は実習評価や、卒業生評価、地域貢献等によって示されている。詳細は「基準 I-B-2」に記述している。

■ どのように学習成果の向上・充実を図っているか。

3学科とも専門的学習成果（量的データと質的データ）と汎用的学習成果（内部評価と外部評価）のデータを擁し、各学科の教員が学科会議で審議して総合的に評価している。各教員の自己点検・評価個人シートも資料として活用している。

いずれも学習成果の向上・充実に向けて、データの測定、検証、課題発見、次のプランに接続という、PDCAサイクルを稼働させている。

(10) オフキャンパス、遠隔教育、通信教育のその他の教育プログラム

■ オフキャンパス

異文化環境体験プログラムとして、米軍三沢基地内の米軍人用商業施設を見学するショップ・ツアーを11月に実施している。平成27年度の参加者は、ライフデザイン学科6名と大学生1名で、本学教員1名が引率した。

■ 遠隔教育、通信教育、その他の教育プログラム

特になし。

(11) 公的資金の適正管理の状況

- 公的資金の適正管理の方針及び実施状況を記述する（公的研究費補助金取扱いに関する規程、不正防止などの管理体制など）。

公的資金の不適切な使用がないよう、文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」および「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づき、「八戸学院大学・八戸学院短期大学における公的研究費の管理・監査および研究活動における不正行為への対応等にかかわる基本方針」と「八戸学院大学・八戸学院短期大学公的研究費の管理・監査に関する規程」を設け、順守している。また、平成27年度は7月に「科学研究費申請サポート講習会」を開催して教員への科研費申請を推進し、12月に「研究倫理・コンプライアンス教育研修会」を開催して研究者による不正に対する基本的な考え方について指針を示し、教育・研究の活性化を図った。

研究費に関しては下記の規程に則り、適正に処理している。

「八戸学院短期大学専任教員研究経費助成金取扱規程」

「八戸学院大学・八戸学院短期大学学外共同研究規程」

「八戸学院大学・八戸学院短期大学受託研究取扱規程」

「八戸学院大学・八戸学院短期大学科学研究費補助金経理事務取扱規程」

「八戸学院大学・八戸学院短期大学における予算執行の不正防止に関する規程」

「八戸学院大学・八戸学院短期大学研究者の行動規範」

なお、「学校法人光星学院公益通報に関する規程」により、不正使用・不正行為に係る通報窓口を設けている。

(12) 理事会・評議員会の開催状況（平成25年度～平成27年度）

平成25年度

区分	開催日現在の状況		開催年月日 開催時間	出席者数等			監事の 出席状況
	定員 (人)	現員(a) (人)		出席理事数 (b) (人)	実出席率 (b/a) (%)	意思表示 出席者数 (人)	
理事会	12～15	12	平成25年5月24日 10:30～11:30	12	100	0	2/2
		12	平成25年5月24日 14:15～14:50	12	100	0	2/2
		12	平成25年9月27日 13:00～13:30	10	83.3	2	1/2
		12	平成25年11月22日 13:00～13:30	10	83.3	2	2/2
		12	平成26年2月21日 13:00～13:30	11	91.7	1	2/2
		12	平成26年3月26日 13:00～13:40	11	91.7	1	1/2

区分	開催日現在の状況		開催年月日 開催時間	出席者数等			監事の 出席状況
	定員 (人)	現員(a) (人)		出席理事数 (b) (人)	実出席率 (b/a) (%)	意思表示 出席者数 (人)	
評議員会	26～32	26	平成25年5月24日 13:00～14:00	25	96.2	1	2/2
		26	平成25年9月27日 10:30～11:45	23	88.5	3	1/2
		26	平成25年11月22日 10:30～11:55	23	88.5	3	2/2
		26	平成26年2月21日 10:30～11:20	23	88.5	3	2/2
		26	平成26年3月26日 10:30～11:50	23	88.5	3	1/2

平成26年度

区分	開催日現在の状況		開催年月日 開催時間	出席者数等			監事の 出席状況
	定員 (人)	現員(a) (人)		出席理事数 (b) (人)	実出席率 (b/a) (%)	意思表示 出席者数 (人)	
理事会	12～15	12	平成26年5月23日 10:30～11:30	10	83.3	2	2/2
		12	平成26年5月23日 14:15～14:50	10	83.3	2	2/2
		12	平成26年9月26日 13:00～13:50	10	83.3	2	2/2
		12	平成26年11月26日 13:00～13:55	12	100	0	2/2
		12	平成27年2月25日 13:00～14:20	11	91.7	1	2/2
		12	平成27年3月17日 15:00～15:20	9	75.0	3	2/2
		12	平成27年3月25日 13:00～14:10	12	100	0	1/2

区分	開催日現在の状況		開催年月日 開催時間	出席者数等			監事の 出席状況
	定員 (人)	現員(a) (人)		出席理事数 (b) (人)	実出席率 (b/a) (%)	意思表示 出席者数 (人)	
評議員会	26~32	26	平成26年5月23日 13:00～14:00	21	80.8	3	2/2
		25	平成26年9月26日 10:30～11:35	22	88.0	3	2/2
		25	平成26年11月26日 10:30～11:40	23	92.0	2	2/2
		25	平成27年2月25日 10:30～11:30	21	84.0	4	2/2
		25	平成27年3月17日 14:00～14:25	21	84.0	4	2/2
		25	平成27年3月25日 10:30～11:45	23	92.0	2	1/2

平成27年度

区分	開催日現在の状況		開催年月日 開催時間	出席者数等			監事の 出席状況
	定員 (人)	現員(a) (人)		出席理事数 (b) (人)	実出席率 (b/a) (%)	意思表示 出席者数 (人)	
理事会	12~15	12	平成27年5月22日 14:00～15:30	11	91.6	1	2/2
		12	平成27年5月22日 18:00～18:25	11	91.6	1	2/2
	8~11	10	平成27年9月25日 13:00～13:35	10	100	0	3/3
		10	平成27年11月25日 13:00～14:00	10	100	0	3/3
		10	平成28年2月24日 13:00～13:45	10	100	0	3/3
		10	平成28年3月23日 13:00～14:35	9	90	1	2/3

区分	開催日現在の状況		開催年月日 開催時間	出席者数等			監事の 出席状況
	定員 (人)	現員(a) (人)		出席理事数 (b) (人)	実出席率 (b/a) (%)	意思表示 出席者数 (人)	
評議員会	25~31	25	平成27年5月22日 16:00～17:30	24	96.0	1	2/2
	17~23	22	平成27年9月25日 10:30～11:16	21	95.4	1	3/3
		22	平成27年11月25日 10:30～11:40	21	95.4	1	3/3
		22	平成28年2月24日 10:30～11:23	21	95.4	1	3/3
		22	平成28年3月23日 10:30～11:45	21	95.4	1	2/3

[注]

- 平成25年度から平成27年度までに開催した全ての理事会及び評議員会について、理事会・評議員会ごとに記入・作成する。(評議員会については、上表の「理事会」、

「出席理事数」を読み替えて作成する。)

2. 「定員」及び「現員 (a)」欄には、理事会・評議員会開催日当日の人数を記入する。
3. 「意思表示出席者数」欄には、寄附行為に「書面をもってあらかじめ意思を表示したものは出席者とみなす」等が規定されている場合、その人数を外数で記入する。
4. 「実出席率 (b/a)」欄には、百分率で小数点以下第1位まで記入する (小数点以下第2位を四捨五入)。
5. 「監事の出席状況」欄には、「/」の右側に監事数 (現員) を記入し、左側に当該理事会及び評議員会に出席した監事数を記入する。

(13) その他

- 上記以外に、評価員が理解を深めるのに役立つ情報があれば記述する。
特になし。

2. 自己点検・評価の組織と活動

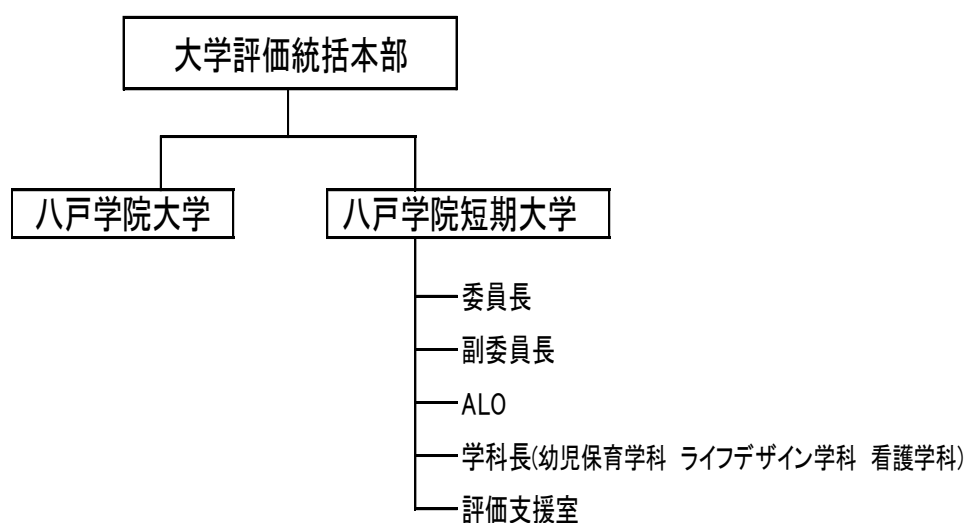
■ 自己点検・評価委員会（担当者、構成員）

八戸学院短期大学 自己点検・評価委員会

平成 28 年 4 月 1 日現在

委員長	学長・幼児保育学科教授	外 崎 充 子
副委員長	教務委員長・幼児保育学科教授	杉 山 幸 子
委員	短期大学基準協会ALO ライフデザイン学科教授	大 久 保 等
〃	学長補佐・ライフデザイン学科長・教授	茂 木 典 子
〃	幼児保育学科長・教授	附 田 勢 津 子
〃	看護学科長・教授	羽 入 雪 子
事務局	大学評価支援室	工 藤 美 那 子 河 村 千 代 美

■ 自己点検・評価の組織図



八戸学院大学・八戸学院短期大学大学評価統括本部

(平成 28 年度)

本部長	大学学長補佐	吉田 稔
副本部長	短期大学長・自己点検評価委員長	外崎 充子
本部長	大学学長	大谷 真樹
〃	大学学長補佐	丹羽 浩正
〃	大学学長補佐	玉樹 真一郎(新)
〃	大学学長補佐	松山 政義
〃	ビジネス学部長	大沢 泉
〃	健康医療学部長	遠藤 守人
	健康医療学部看護学科長	蛭田 由美(新)
〃	短期大学学長補佐・ライフデザイン学科長	茂木 典子
〃	短期大学幼児保育学科長	附田 勢津子
〃	短期大学看護学科長	羽入 雪子
〃	大学自己点検評価委員長	坂本 貴博
〃	総務部長	中野 陸奥
〃	学務部長	岩浪 始由
専門員	大学自己点検評価委員会副委員長	瀧澤 透
〃	短期大学基準協会 A L O	大久保 等
事務局	大学評価支援室	工藤 美那子
〃	大学評価支援室	河村 千代美

■ 組織が機能していることの記述

大学評価統括本部は「八戸学院大学・八戸学院短期大学大学評価に関する規程」に基づき平成24年に組織され、自己点検評価の基本方針および実施方策を定めている。

八戸学院短期大学自己点検・評価委員会は規程に基づき、自己点検・評価の計画と実施、報告書の作成、公表を執り行い、第三者評価受審時における対応組織としても役割を果たしている。

平成27年度の「自己点検・評価報告書」は26年度に続き、全員参加体制の強化を図り、自己点検・評価個人シートを全教員が作成した。自己点検・評価個人シートは学科長がとりまとめ、学長が総括して全員に配布し、その内容を自己点検報告書の記述に反映させている。本学の重点目標である「地域貢献」についても、各教員の報告により実態を報告している。

平成 23 年度より法人内の大学と本学とで相互評価を実施している。両学の委員が相互に書面質問(コメント)を提出し、両学の委員会では内容を確認し、回答をする。

両学では相互評価を次年度報告書の作成に反映させ、検証結果を報告する。相互評価により、新たな気づきや着想が喚起され、次年度の報告書に改善が加えられている。

本学では毎年行う自己点検評価により、学内外の現状把握が的確に行われ、問題点が顕在化されて改善の方向性が明確になってきている。